

News Release

2025年12月19日

「福岡ソフトバンクホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果」 ～長崎経済研究所による調査結果～

この度、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（取締役社長 五島 久）のグループ会社である株式会社長崎経済研究所（代表取締役 三井 一明）は、福岡ソフトバンクホークス株式会社（代表取締役社長 CEO 後藤芳光）の協力を得て、「福岡ソフトバンクホークス（以下「ホークス」）が福岡県に及ぼす経済波及効果（2025年）」の調査を行いました。

記

■ 調査結果～ホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果（2025年）～

⇒「①オープン戦・公式戦におけるみずほPayPayドーム福岡の観客による消費額」および「②BOSS E・ZO FUKUOKAの来館者による消費額」、「③メディア需要額」、「④HAWKSベースボールパーク筑後（ファーム）の観客による消費額」（以下ファーム消費）、「⑤自主興行の観客による消費額」によって福岡県に及ぼす経済波及効果は、**約1,748億円**に達すると推計

（単位：百万円）

2025年(福岡ソフトバンクホークス)						
	①観客消費	②来館者消費	③メディア需要	④ファーム消費	⑤自主興行消費	計
波及効果	93,961	75,251	4,660	232	694	174,798

※1 経済波及効果とは、イベント等によってあらたに需要が発生した時に、その需要を満たすための生産が次々と誘発されていくことを指しており、一般的にその効果は、直接効果、第1次間接効果、第2次間接効果の3段階に分かれて推計されます。

※2 今回の推計にあたっては、下記の数値を基に福岡県の経済波及効果分析ツールを用いて算出しました。

- ・みずほPayPayドーム福岡およびBOSS E・ZO FUKUOKAで実施したアンケート調査ならびに、ホークスから提供を受けたデータを基に推計した「観客・来館者の消費額（交通費、宿泊費、飲食費、土産代・買物代、入場料・施設利用料）」。
- ・ホークス戦放映に伴う地元テレビ、ラジオ局のCM広告料収入および、公表されている地元新聞社のデジタルメディアの売上高より推計した「メディアの需要額」。
- ・オープン戦、HAWKSベースボールパーク筑後（2軍・3軍の試合等）、自主興行それぞれの観客の「消費額」。

※3 今回の推計は、クライマックスシリーズ、日本シリーズおよび貸館（ホークス以外の主催者に対するコンサート等の会場貸出）は対象外としております。

ホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果は、本件調査対象以外にも、地域の知名度向上によるシティセールス効果やホークス応援セール等による売上増加効果も見込まれます。

ふくおかフィナンシャルグループでは、今後も地域の活性化につながる調査、及び情報提供に努めてまいります。

以 上

《 本件に関するお問合せ先 》

(株)ふくおかフィナンシャルグループ

(株)長崎経済研究所 担当：永山・村田

TEL 095 - 828 - 8859